



ふれディア治療院



全国相談窓口 ☎ 0120-116-017

発行/ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁1-3-4朝霞台駅前ビル8F

こんにちは、ふれディア通信編集部です。 年始の慌ただしさがようやく落ち着く2月ですが、この月は毎年「なんだか変な月だな」と感じてしまいます。 まず、単純に短い！ たった2日の差が思いのほか大きく、日数以上にあっという間に過ぎていくように感じるのは私だけでしょうか（笑）。 この駆け抜けるような2月のおかげで、どこか前年を引きずっていた感覚がすっと消え、「いよいよ今年が本格的に動き出したな」と気持ちが切り替わるようにも思います。 さて、そもそもなぜ2月は短いのでしょうか。 少し調べてみると、そこに科学的・天文学的な理由はなく、あくまでも歴史的な慣習から来ているようです。 古代ローマでは、2月は1年の最後の月とされ、不吉と考えられていたため日数が短くされたという説があります。 また、ローマ皇帝アウグストゥスが自分の名を冠した8月（August）を31日にするため、2月から日数を移したという“都市伝説”のような話も残っています。 「いっそ2日増やして30日にし、各月の長さを揃えたらいいのでは？」という議論は昔からあったものの、結局採用されず…。 さらに4年に一度のうるう年の調整まで担うことになった2月は、まさに不思議で特徴的な月といえます。 そして、その2月——“短い2月”の由来を持つイタリアでは、6日から22日まで冬季オリンピックが開催されます。 ミラノとコルティナによる史上初の複数都市での分散開催で、過去最多の116種目・約3000人の選手が熱戦を繰り広げます。 ちなみにコルティナは1956年大会の開催地でもあり、アルペンスキー回戦では猪谷千春さんが2位に入賞。 日本人として初めて冬季五輪のメダルを獲得した歴史的大会でもあります。 その後、日本のメダル獲得は1972年札幌大会まで空くこととなり、まさに快挙と呼べるものでした。 今大会でも、きっと新たな伝説や名シーンが生まれることでしょう。 夢中で観戦しているうちに、今年の2月はさらに短く感じられるかもしれませんね。 暦の上では「立春」を迎え、春の気配が少しずつ近づいている頃。 鼻の奥に花粉の気配を感じはじめている方も多かもしれません。 この短い2月のうちに、前年からの感覚をリセットし、春に向けて気持ちの準備を進めておきましょう。

脳トレーニングで脳年齢を若く・脳を活性化!

計算しながらゴールを目指そう! 計算迷路

マスの中の数を計算しながら、スタートからゴールまで進んでください。 **ゴールにある答えの数**になるには、**どのようなルートを進めばよいか考えてみましょう。**

【ルール】マスは縦と横にのみ進むことができ、一度通ったマスとグレーのマスは進めません。

例

スタート 線のルートが解答です

4	-2	$\times 4$	$\div 3$
+1	$\times 2$	-3	
$\div 5$		+5	-3
+8	+1	$\div 2$	=6

ゴール

問題

スタート

5	$\times 2$	-4	+1
+1		$\div 3$	$\times 2$
$\times 3$		$\times 3$	+4
-7	+5	-6	=8

ゴール

“解答”は他のページに載っています。答えがわかるまでじっくり考えることが脳の活性化につながります!